

先進国株式インデックス・ファンド



格付：**B-3**



CLUB ALCHEMISTA

日本を含む世界の先進国の株式に投資する投資信託です。

属性

投資信託

対象

世界の先進国の株式

利回り

1.27%

概要

日本を含む世界の先進国の株式に投資を行い、MSCIワールド・インデックス（主要国の株式を対象とした株価指数（円換算ベース））の動きに連動する投資成果を目指す。3月、6月、9月、12月決算。

リスク

流動リスク:	N/A
価格リスク:	基準価格
為替リスク:	USD ほか
信用リスク:	N/A
その他:	N/A

※N/Aは、該当なし (not applicable)

運用元： インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

Web: <http://www.invesco.co.jp/>

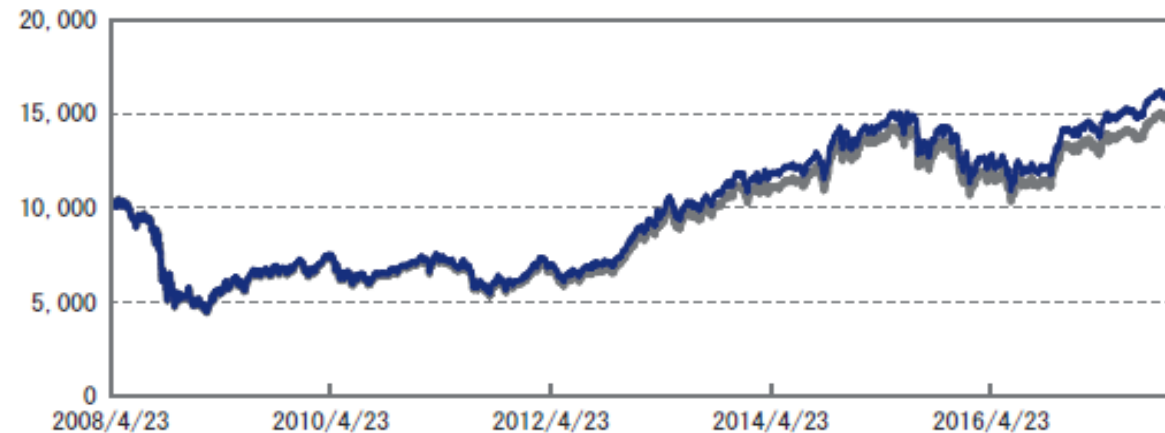
所在地： 東京都港区六本木六丁目10番1号
六本木ヒルズ森タワー14階

Summary

12月の日本の株式市場は4か月連続での上昇となった。月初は米国大統領によるエルサレムの首都認定をめぐる地政学リスクへの懸念などから、日経平均株価は22,100円台まで下落したものの、月後半には堅調な経済指標などが好感され、日経平均は月末近くに1992年1月以来の高値をつけた。同月の米国株式市場は上昇。主要3株価指数が全て12月中に過去最高値を更新するなど堅調に推移した。欧州主要株式市場では、ユーロ高やドイツ、イタリアの政治的不透明感が株価の圧迫要因となった一方、イギリスではEU離脱交渉の前進や資源価格の上昇などが好感され、FTSE100指数（ロンドン証券取引所に上場する時価総額上位100銘柄で構成される株価指数）が過去最高値を更新するなどまちまちの展開となった。また、アジアでは香港市場やオーストラリア市場が堅調に推移する中、シンガポール市場が下落。同じくまちまちの結果であった。運用状況としては、ほどベンチマーク(MSCIワールド・インデックス)に連動した成果となっている。以上のことからリターン面では「B-」とし、リスクは「3」と判断する。

■ 基準価額の推移（課税前分配金再投資ベース）

— 基準価額（課税前分配金再投資）（円） — ベンチマーク



※基準価額は信託報酬（後述の「ファンドの費用」参照）控除後のものです。

※ベンチマーク（MSCIワールド・インデックス（円換算ベース））は、基準日前営業日の数値を元に、基準日当日の米ドル為替レート（対顧客電信売買相場の仲値）を乗じ、設定日を10,000として指数化しています。

Note: 本資料は格付情報提供を目的としており、投資勧誘を目的としているものではありません。資料に掲載されている情報の作成には万全を期していますが、当該情報の完全性を保証するものではありません。本資料から得た情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害等の一切について責任を負いません。

Copyright (C) 2018 Club ALCHEMISTA